



Title	サーキットモデルによるNPO活動のマネジメントと評価
Author(s)	敷田, 麻実
Citation	日本NPO学会第5回年次大会. 平成15年3月14日 ~ 平成15年3月16日. 生駒市, 奈良市
Issue Date	2003-03-15
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/34797">http://hdl.handle.net/2115/34797</a>
Type	conference presentation
File Information	1253-3.pdf



[Instructions for use](#)


## サーキットモデルによる NPO活動のマネジメントと評価



金沢工業大学 環境システム工学科  
敷田 麻実


## 発表内容

- NPO活動のデザインプロセス
- サーキットモデル
- サーキットモデルによる評価



### NPO活動の課題

組織や資源が十分ではない  
市場で資金を調達できない  
外部の影響を受けやすい  
ノウハウが蓄積しない  
場当たりの  
参加者の努力したい




### なぜか？

- 活動の多様性が高く、戦略を設計する一般モデルがない
- デザインプロセスのモデルがない
- さまざまな知識やアイデアを必要とする

### よくあるNPO活動・・・

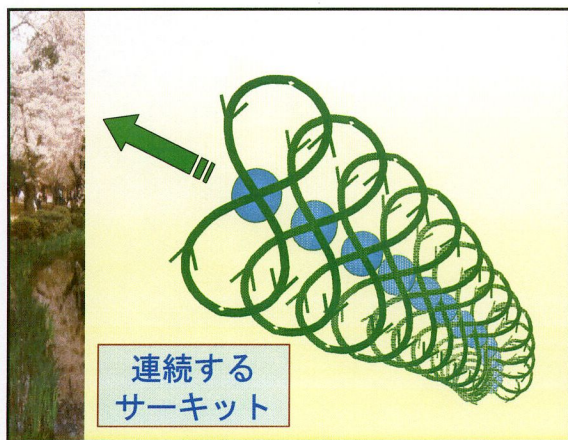
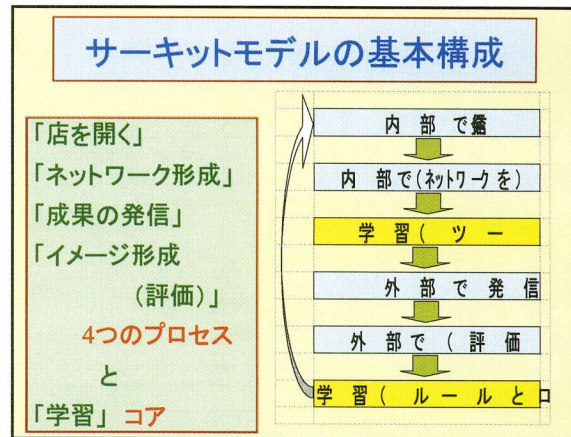
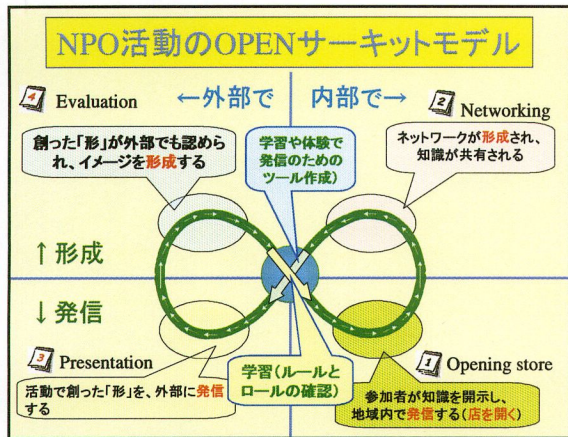
活動を広報する  
ネットワーキングする(組織化)  
地域で勉強会を開く  
専門家による講演、指導  
イベントを開く  
報告書を作る  
会報を作る

- 人が活動に関心を持ってくれる  
評判になる



### 📦 活動をむすびつける

活動の容	場	活動
活動を広報	外部	発信
ネットワーキング	内部	形成
地域で勉強会を開く	内部	学ぶ
専門家による講演	内部	発信
イベントを開く	外部	発信
報告書を作る	外部	発信
会報を作る	外部	発信
活動に関心を持つ	外部	学ぶ
評判になる	外部	形成



- ### サーキットモデルの利点
- NPO活動全体のデザインが可能
  - 外部からの資金・知識・人を活用するNPO活動に最適  
- いわば「よそ者」との協働
  - NPO活動の知のストック(知識)の充実がめざせる  
= ソーシャルキャピタルの充実

### 開放的な閉鎖性 (Oxymoron)

「店」は多いほどよい(多様性)  
開店のリスクを下げる(自由)  
よそ者の存在を生かす  
ルールと役割 (ロール)

- ### 活動の評価
- 利益という基準が使えない
  - アウトプットで評価する問題
  - プロセスの充実度を評価したい
  - 複雑すぎる評価方法

### 残高試算表の仕組み

<b>資産</b> 2500	<b>負債・剰余金</b> 2000
<b>費用</b> 500	<b>収益</b> 1000
<b>合計 3.0</b>	<b>合計 3.0</b>

残高試算表(trial balance, T/B)  
ある期日のストックに、その期日からのフローを加えたもの  
会計では 期首の貸借対象表+フロー=残高試算表

### 知識創造試算表

サーキットモデルによる

作成：金沢工業大学 鹿地シ

分類	資産				負債			
	借	入	出	計	借	入	出	計
ネットワーク								
NPO活動								
学習・体験								
知識創造								
費用								
合計								

### サーキットモデルによる知識

分類	資産				負債			
	借	入	出	計	借	入	出	計
知識創造								
ネットワーク								
学習・体験								
知識創造								
費用								
合計								

### まとめ

- サーキットモデルモデルの提案  
-デザインプロセス
- 開放的な閉鎖性(Oxymoron)
- 知識創造試算表の提案  
-知識を生み出すNPO活動

